

鈴木愛子です。

私達のトレッキング中の地震の時は心配してくださり、有り難うございました。
簡単にトレッキングの報告を致します。

【日程】 2015年4月1日～4月30日（ヒマラヤ観光開発（株）のツアー）

【山域】 ヒマラヤ クーンブ山群

【登山方法】 ロッジ泊トレッキング

【参加者】 CL会員外 鈴木憲二 鈴木愛子 会員外7名（平均年齢68歳）

【概要】 スリーパス越えとスリーピーク登頂 （パスとは峠）

成田⇒カトマンズ⇒ルクラ⇒ナムチェ⇒チュクン⇒チュクンピーク（5200m）
→コンマパス（5500m）→ロブチェ→ゴラクシェブ→カラパタル（5545m）
→チョラパス（5330m）→ゴーキョ→ゴーキョピーク（5360m）→
レンジョパス（5345m）→ターメ→ナムチェ→ルクラ→カトマンズ→成田

【内容】 上記の予定であったが、今年は例年になく積雪が多く（約60cm～100cm）
パス越えは、誰も行ってなく、トレースもなく、無理ということで断念した。

パス越えで各ピーク間をつなぐ計画がだめになり、その都度下に戻り、登り
返すことになり、歩く距離が長くなった。

大体は天候に恵まれ、楽しむ事が出来た。（雪、雨の中歩いた日もあったが…）

ナムチェに向かうまでの間、桜、シャクナゲが満開で綺麗であった。

サクラソウ、アイリス、日本のタテヤマリンドウに似た花が沢山咲いていて
可憐でとても可愛くて励まされた。

地震について

私達は4月25日、11:56頃ナムチェからパグディンへ下山中、モンジョ近くの
谷底のつり橋上で遭遇した。つり橋が大きく揺れ、前方の岩山からは、土煙を
あげ、無数の落石があり、目の前をとんで行った。

前の山がそういう状態であり、後ろの山も危険と判断したのか、リーダーに
つり橋の中央に集まる様に言われた。つり橋が壊れたら、という不安があったが
幸い、つり橋は大丈夫でほっとした。

状態が落ち着くまで、暫く待機して出発したが、パグディンまでの間は、石積みの

家が崩壊したり、落石の直撃で屋根がなかったり、住民は外に出て、不安そうにしていた。

又、登山道も亀裂や、崩壊、倒木等があり、高巻いて行った所が数か所あった。

予定ではパグディンに泊まる予定であったが、余震、地形、ロッジの損傷などを見て、現地ガイドは「ここは危険だ、ルクラまで行こう」との事で、あと4時間歩いてルクラに向かった。(計、休憩を入れて9時間位歩いた)

ルクラに着いても余震が続き、石積みのロッジからプレハブ作りの平屋のロッジに変えた。

後で知ったが、落石の時、私達の前を歩いていたグループの人が2人、後ろを歩いていた人が4人亡くなったそうである。

休憩後、あと5~6分早く歩き始めていたら、私達のグループが落石にあっていたかもしれないと思うと、無事に帰れて本当に良かったと思う。

私達は助かったが亡くなった人の事を思うと複雑な気持ちである。

カトマンズの状況は、テレビ等でご覧の通りである。

観光が主要産業の国での震災で、地元の話では、「こんなに大きな地震は初めてだ」と話していた。

世界遺産、僧院、寺院、仏塔の倒壊にショックを受け、涙している人々もいた。一日も早い復旧、復興を祈っている。

高所順応について

ダイアモックス(薬)は、私は高山病になったら飲む薬だと思ったいた。ツアーリーダーがそれを飲めば「高山病の予防が出来る、希望者はさしあげます」とのこと。夫はその薬を3800mの地点(パグディン)からナムチェに戻る前日まで飲んだ。私は、リュウマチの薬と相乗作用が起きたら困るので飲まなかった。

1日の高度アップが600m以内になっていた。

行く前に、富樫さんが「ロッジについたら、そこより100mでも200mでも上に登ってロッジに帰る事をすれば、高山病を予防できる」と助言してくれた。

ツアーの計画が、その様な事がくまれていた。(夕景が綺麗だから希望者は見に行きましょう、もう少し登るとエベレストが見えるから行きましょう等々)そういうのは希望者のみだったが、富樫さんの助言を思い出し、みんな希望した。以上のお陰か、夫も私も、ツアー仲間も全員高山病にならずに、3つのピークを登ることが出来、嬉しかった。

富樫さん、色々助言を有り難うございました。

トレッキングを終えての感想

5000mを越えて、ピークを目指している時は、やはり空気が薄くて、きつく、ゆっくり、ゆっくり登った。頂上に着き、スケールの大きい雄大な景色に感動した。私達が登った、カラパタル、ゴーキョピーク、チュクンピークは、5000mを越えているのに、周りの山々から見ると、丘のような山であった。

6000m～7000m～8000mの山々は本当に素敵であった。

エベレスト、ローツェ、マカルー、アイランドピーク、ガチュンカン、チョーオユー等々他、よく見えた。

チョーオユーを眺めた時「平野(直)さんと広木(愛)さんはあの山を登ったんだ、すごいなあ」と思いながら眺めた。

絶景、絶景の連続で、富樫さんがネパールに何度も行ったという話を聞き、分かるような気がした。

歳を重ねても、エベレスト・ビュー・ホテルの辺りまでなら、行けそうな気がする。エベレスト・ビュー・ホテルのサンルームから眺めたエベレスト、アマダブラム、タムシェルク、カンテガ等々の山波はとても素敵であった。

いつかまた行きたいと思うが、先立つものが……??